

平成30年度 保健体育科「保健」SYLLABUS

単位数	1単位	学科・学年・学級	普通科 第2学年 全クラス共通
教科書	最新高等 保健体育 (大修館書店)	副教材等	最新高等 保健体育ノート (大修館書店)

1. 学習の到達目標

<p>①交通安全は個人の注意だけにとどまらず車両や交通環境を理解し事故の責任や補償問題があることも知ること</p> <p>②応急手当の方法を理解し正しい手順を知り心肺蘇生法をを速やかに行えるようにする</p> <p>③心や体が年齢を重ねて変化する。年齢とともに会おうさまざまな健康問題や健康を支える社会のしくみとその活用の仕方などについて学ぶ</p> <p>④健康的な社会生活を営むうえで、身のまわりの自然環境や食品、労働などに関する健康問題を学ぶ 社会の制度や取り組み・活動のあり方。社会全体の健康を高めるためにも、環境・食品・労働と健康との関係について学ぶ</p>
--

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等	
前 期	4	1単元 現代社会と健康 交通事故の現状	15.交通事故の現状と要因	わが国の交通事故の現状を知り、事故要因を調べ、どうしたら交通事故 交通事故がおこらないかを考え、身近な交通事故危険箇所を知る。	ノート作成・提出	
	5		16.交通事故を防ぐために	安全な運転のため要素を考え、交通事故を起こした際の責任や補償に ついて理解する。安全な交通社会の方策を考えるとともに、 車両の交通安全装置について学習する。	課題作成/提出	
	5		③ 応急手当の意義	17.応急手当の意義とその基本	応急手当の意義と日常的な応急手当を身につける。	
			18.日常的な応急手当	熱中症やけがに応じた手当てを実際に行って、その手順を学習する。	調査・レポート提出	
			19.心肺蘇生法の原理とおこない方	心肺蘇生法について、その原理と手順を理解する。 手順に従って、実際に心肺蘇生法をおこない、確認実技テストの実施。	視聴覚で手順確認	
		6	2単元 生涯を通じる健康 健康問題や健康を 支えるしくみと活用 の方法を学ぶ	④ 心肺蘇生法テスト	心肺蘇生法の確認実技テストの実施。	実技・ノートチェック
		心肺蘇生法テスト		心肺蘇生法の確認実技テストの実施。	レポート提出	
		7	②	1.思春期と健康	思春期の体の特徴とともに、行動面・心理面の特徴を学ぶ。 とくに女性の性周期についてしっかり学び、女性自らの変化を学ぶ。	考查・ノートチェック
				2.性への関心・欲求と性行動	男女の性意識の違いを知るとともに、性情報が性行動選択 に及ぼす影響を学び、科学的根拠にもとづいた知識を得る	
		9	③	3.妊娠・出産と健康	受精・妊娠・出産のメカニズムを知る 妊娠・出産期に本人や周囲は何を注意すべきか学ぶ。	ノートチェック
	4.避妊法と人工妊娠中絶	安全で確実な避妊法について男女それぞれの立場から考える。 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響を健康面、命の尊重の両面より学ぶ。		ノート提出		
	10	③	5.結婚生活と健康	心身の健康が結婚生活の基盤になること、また、夫婦間のよい コミュニケーションが健康生活を支えていることを学ぶ。		
	6.中高年期と健康		年をとると心身にどんな変化があるか、また中高年期を健やかに過ごすにはどうしたらよいか学ぶ。 「生きがい」とは何かを考えてみる。	ノートチェック		

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
	11 ④		7.医薬品と健康	医薬品の役割を理解し、正しい使い方について学ぼう。	グループ研究・発表 レポート提出
			8.医療サービスとその活用	わが国の医療制度や医療保険のしくみを知り、医療保険が支払われる流れを調べる。 医療機関の選び方を学び、医者へのかかり方や インフォームド・コンセント、セカンド・オピニオンに必要な事柄を調べてみよう	
	12 ②		9.保健サービスとその活用	わが国の医療制度や医療保険のしくみを知り、医療保険が支払われる 流れを調べる。 医療機関の選び方を学び、医者へのかかり方やインフォームド・コンセント、 セカンド・オピニオンに必要な事柄を調べる。	調査・ノートチェック
			10.さまざまな保健活動や対策	民間機関・国際機関などの保健活動や対策について理解を深める。 若者の交通事故の特徴を説明できる 交通事故の発生に関係する要因を例をあげて説明できる	
	1 ③	3単元 社会生活と健康 自然環境や食品、 労働などに関する 健康問題を学ぶ。	1.大気汚染と健康	過去と現在の大気汚染および健康影響の違いを知り、大気にかかわる 地球規模の問題も考えてみる。	調査・レポート提出
			2.水質汚濁、土壌汚染と健康	水質汚濁および土壌汚染の健康影響を原因物質の視点から考えるとともに、 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染との関連についても調べてみる	
			3.環境汚染を防ぐ取り組み	環境汚染の防止のための、社会および身近な、環境にやさしい対策 について考えよう。	
			4.ごみの処理と上下水道の整備	ごみ処理および上下水道の現状を学び、ごみ・し尿・上下水道の整備 ・問題・対策などを考えよう。	
	2 ③		5.食品の安全を守る活動	食品衛生管理のための、行政・製造・生産がおこなっている対策を学ぶとともに、 職場と個人がおこなうべき職業病や労働災害の防止対策を知り、働く人の健康問題を考えよう。	調査・レポート提出
			6.働くことと健康	働くことと健康や安全が相互に影響をしていることを学ぼう。	
			7.働く人の健康づくり	職場の健康増進対策について知るとともに、余暇の必要性から日常生活 の健康増進や生活の質の向上について考えよう。	
	3 ②				調査・ノート提出

### 3. 評価の観点

関心・意欲・態度	健康に関する取り組み・レポート提出・研究発表
保健的な思考判断	集団・個人の健康に関する諸項目を理解し考え行動がとれる
保健に関する技能	実技による技能の修得(救急法等)
知識・理解	健康を意識した知識・行動の修得

### 4. 評価法

定期調査・レポート提出・研究発表他

### 5. 担当者からのメッセージ

変化のある社会に対応できるように常に社会全体の健康や出来事に注目し正しい判断がとれるように現在の基礎的な考えを理解し行動がとれるように学習する